

くるりんバスの運行状況について

1. 乗車人員の推移（資料2 - ①参照）

令和2年4月、5月の緊急事態宣言時に乗車人員が大きく落ち込み、それ以降も緊急事態宣言時やまん延防止等重点措置期間の落ち込みがみられましたが、令和3年度以降は回復傾向にあります。全体（西砂・錦ルート）では、令和4年度は令和3年度に比べて約15%増となっており、令和元年8月～令和2年3月と令和4年8月～令和5年3月を比較すると約3.4%増となっています。

2. 運賃収入の推移（資料2 - ②参照）

乗車人員と同様に令和2年度に大きく落ち込みましたが、令和3年度以降は回復傾向にあり、全体（西砂・錦ルート）では、令和4年度は令和3年度に比べて約15%増となっています。また、令和元年8月～令和2年3月と令和4年8月～令和5年3月を比較すると約5.6%増となっています。

3. 収支率について（資料3参照）

平成31年度の全体の収支率は32.0%、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けて26.3%と大きく落ち込みましたが、令和3年度以降は28.8%と回復傾向にあり、令和4年度は31.8%となりました。

ルート別の収支率は、西砂ルート・錦ルートともに平成31年度、令和2年度は全体収支率と同様に大きく落ち込みましたが、令和3年度以降は回復傾向にあり、令和4年度では西砂ルート27.1%、錦ルート37.2%となっています。